

別紙（陳情第134号）

J R北海道の国有化を求める意見書(案)

ロシアによるウクライナ侵略戦争が、勃発して約1年経ちました。アジアの状況も、中国が台湾の武力統一を否定せず、東アジアの状況は、厳しさを増しています。政府は経済安全保障政策を取り入れて政策を遂行していますが、食糧安保政策も進めるべきです。

我が国は食料自給率も低く、海外から農産物を大量に輸入しています。これでは東アジアで紛争が勃発したら、農産物の輸入が出来なくなり、日本にも食糧危機が起きます。

又国内では北海道が農産物の供給基地として、重要な役割を果たしていますが、農産物を迅速に輸送できる鉄道はJ R北海道です。現在、民営化されたJ R北海道の経営方針は、地方の不採算路線は廃線する方向で進めています。

しかも、J R北海道のすべての不採算路線を廃線すると、北海道には鉄道が消滅してしまいます。

しかし、明治からの北海道の歩みを振り返れば鉄道の役割は大きく、今日の北海道の農産物出荷の国内一位の土台を築き、又戦後日本経済の復興を北海道の石炭が支え、採炭した石炭を運搬した鉄道の役割も大です。

今後激動する東アジア情勢の中で、食糧問題を考量すれば、再びJ R北海道を国有化し、北海道の広大な土地と農産物を迅速に運搬する鉄道を守る事が、日本の食糧問題の危機の解決の一助になると思います。あえて食料危機に対する国の覚悟を問います。

よって、国においては、J R北海道を国有化するよう要望する。

令和5年 月 日

北九州市議会

内閣官房長官 松野 博一 宛
国土交通大臣 斉藤 鉄夫 宛
自由民主党 幹事長 茂木 敏充 宛
公明党 幹事長 石井 啓一 宛